

移調に関して保育科学生が起こし易い間違い

黒瀬久子

1. はしがき

短期大学生に対して教育効果を評価し、新たな学年における教育方針を考える最適の時期は第1学年の学年末試験から第2学年の授業開始までの間である。しかし、試験と休暇を避けると、これは第1学年の最後の授業か第2学年の最初の授業ともなる。この時期に保育科学生222名に対して、身近かな5つの長調に関する基礎事項の理解の程度を調べ、さらにそれらを総合的に応用できる段階まで理解しているかどうかを判断するために、実際の子どもの歌を課題として移調と伴奏付けを行わせた。その結果、きわめて基礎的事項の理解を徹底させることの重要性が明らかになった¹⁾²⁾。この分析では、各設問に対して解答が正しいか、間違っているかあるいは解答していなかったかに分けて扱った。この段階の分析では重点を置いて教えないといけない事項を抽出できても、どのように説明すれば正確な理解を助けることになるかの手がかりは得られなかった。そこで、説明の方針に関する手がかりを得るために、基礎となる音階・調号および和音に関する間違い方に着目し、どのような考え違いをすれば実際に学生が行ったような間違いとなるかを検討した³⁾⁴⁾。その結果、間違いの大部分はそれぞれの事項を全く理解していなかったためでなく、不確実な記憶によることが分かった。また、音部記号と調号のような楽譜として不可欠な事項を記入していない場合が多かった。これらの事項の多くは、すでに記入してある解答用紙を与えられ、それらを自分で記入しなければ楽譜にならないという当然なことを十分覚えさせられる機会にほとんど接しなかったことが原因となると推定された。移調と伴奏付けに関する正解率は、移調する調によって異なるが、極めて低かった。その原因が基礎事項に対する理解の不足あるいは不正確さによるのか、あるいは移調の意味を理解していないためかを知るために解答に見られた間違いとそれらの間の関連について検討した。その結果、学生が楽譜の基礎を覚える際の考えの進め方と記入する際の考え方に関する手がかりが得られたので、報告する。

2. 材料および方法

資料の収集法は前報¹⁾²⁾に記した。すなわち、保育科学生222名に対して、ハ長調・ト長調・ニ長調・ヘ長調および変ロ長調の音階・主要三和音と属七和音を記入させ、藤原広秋作

詞・土谷幸雄作曲の「お母さんと呼ぶ時は」(ハ長調, 2/4拍子)を変ロ長調・ト長調およびニ長調のうちの指定する調に移調させた。前報では移調に関して調号・拍子・旋律および伴奏の4点を取り上げ、それぞれ正解・誤解答および無解答に分け、それらの組み合わせによる学生の類型化と基礎事項の正誤との関連を分析した。なお、この際不完全な解答は理由と程度にかかわらず誤りとみなして扱った。しかし本報では、間違う理由を詳しく検討するために、移調した楽譜を旋律と伴奏に分け、前者では開始音・調号および拍子、後者では和音と調号を取り上げた。各項目に関する解答は、主観的判断が入り込む余地が少なく、しかも記述内容を圧縮して、関連のある全問に対する解答の状況を全員に関して把握しやすくするために、いくつかの記号で表示し集計した。

3. 結果および考察

3・1 概要

本報で扱う基礎資料として、平成4年度入学生105名と5年度入学生117名の移調に関する解答を記号化し、表1の移調後の欄に示した。移調を間違う原因が基礎事項に見られるか、あるいはそれ以外にあるかを調べるために移調前の解答と移調前後の解答の関連を本表に付記した。なお、移調前の欄は前報¹⁾の表1から抜粋し、本表の末尾に示した記号によって記したものである。

表1. 移調に関する解答およびそれらに関連する調の音階・調号および和音に対する解答
 1. 平成4年度入学生
 1-1) 変口長調に移調

移 調 後				移 調 前							間違いに見られる移調前後の関連性				
旋 律	伴 奏			ハ長調		移調する調		和 音			旋 律	伴 奏			
開始音	調号	拍子	和音 調号	ウ	リ	調号	I	IV	V	V7	開始音	調号	拍子	和音 調号	
1. 旋律・伴奏ともに正解															
f ¹	○	○	B	○	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
f ¹	○	○	B	○	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
f ¹	○	○	B	○	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
f ¹	○	○	B	○	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
f ¹	○	○	B	○	B	○	-	-	-	I音	○	○	○	+	○
f ¹	○	○	B	○	B	○	○	-	-	-	○	○	○	+	○
2. 旋律は正解															
伴奏の和音だけを間違え															
f ¹	○	○	一部	○	B	○	○	○	○	○	○	○	○	>	○
f ¹	○	○	一部	○	B	○	○	-	-	解不	○	○	○	X	○
f ¹	○	○	-	○	B	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
f ¹	○	○	-	○	B	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
f ¹	○	○	-	○	B	○	○	-	-	○	○	○	○	.	○
f ¹ *	○	○	-	○	B	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
伴奏の和音と調号をともに間違え															
f ¹	○	○	○	誤記	B	○	○	○	○	○	○	○	○	>	>
f ¹	○	○	-	-	B	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
f ¹	○	○	-	-	B	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
3. 旋律の開始音を間違え															
伴奏は正解															
g ¹	○	○	B	○	B	○	○	-	-	解不	>	○	○	+	○
4. 旋律の調号を間違え															
伴奏の和音と調号をともに間違え															
f ¹	b3	○	3I	b3	B	#3	8和	8和	8和	8和	○	=	○	#	=
f ¹	#4	○	一部	#4	B	#4	#4	#4	#4	#4	○	=	○	#	=
f ¹	位置	○	-	位置	B	○	和音	和音	和音	和音	○	#	○	-	>
f ¹	-	○	ト	-	B	#5	-	-	-	-	○	-	○	X	-
5. 旋律の拍子を間違え															
6. 旋律の調号と拍子を間違え															
伴奏の和音と調号をともに間違え															
f ¹	b1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	X	-	.	.
f ¹	#7	-	-	-	B	#7	○	-	-	-	○	#	-	.	-
7. 旋律の開始音と拍子を間違え															
伴奏の和音だけを間違え															
a ¹	○	4/2	I	○	B	○	-	-	-	-	>	○	>	X	○
8. 旋律の開始音と調号を間違え															
伴奏の調号だけを間違え															
g ²	#5	○	B	#5	B	#5	○	-	-	-	>	=	○	+	=
伴奏の和音と調号をともに間違え															
a ¹	-	○	-	-	ト	d	ト	ト	ト	ト	*	ト	ト	.	ト
h ²	-	○	-	-	CH	-	-	-	-	-	X	ト	ト	.	ト
c ²	-	○	-	-	-	A	○	1.	1.	1.	#	ト	ト	.	ト
-	-	○	-	-	-	B	-	○	○	○	-	#	ト	.	ト
-	-	○	-	-	-	-	b1	-	-	-	-	ト	ト	.	ト
-	-	○	-	-	-	B	b1	-	-	-	-	ト	ト	.	ト
-	-	○	-	-	-	B	b1	-	-	-	-	ト	ト	.	ト
9. 旋律の3間ともに間違え															
伴奏の和音だけを間違え															
-	-	-	G	○	B	○	○	○	○	○	-	-	-	>	○
伴奏の和音と調号をともに間違え (全間)															
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	CH	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1-2) ト長調に移調

移 調 後					移 調 前								関連いに見られる移調前後の関連性								
旋 律 開始音 調号 拍子			伴 奏 和音 調号		ハ長調 ウ ヨ				移調する調 調号				和 音 I IV V V7				旋 律 開始音 調号 拍子			伴 奏 和音 調号	
1. 旋律・伴奏ともに正解																					
d ²	○	○	G ₆	○	g	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
d ²	○	○	G*	○	G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
d ²	○	○	G ₆	○	G	○	和音	和音	和音	和音	○	○	○	○	1音	○	○	○	○	○	
d ²	○	○	G	○	G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
d ²	○	○	G	○	G	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	+	
2. 旋律は正解																					
伴奏の和音だけを関連う																					
d ²	○	○	一部	○	G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	>	>	○	
d ²	○	○	ト	○	G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	>	>	○	
d ²	○	○	一部	○	G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	>	>	○	
u ²	○	○	Fis	○	G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	>	>	○	
伴奏の和音と調号をもとに関連う																					
d ²	○	○	ト	ト	G	○	調欠	調欠	調欠	調欠	○	○	○	○	○	○	○	#	#	○	
d ²	○	○	-	-	G	○	和音	和音	和音	和音	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
3. 旋律の開始音を関連う																					
伴奏の和音だけを関連う																					
h ¹	○	○	一部	○	G	○	○	○	○	○	>	○	>	>	○	>	○	>	>	○	
d ¹	○	○	単音	○	G	○	○	○	○	○	>	○	>	>	○	>	○	>	>	○	
c ²	○	○	-	○	G	○	記欠	記欠	記欠	記欠	>	○	>	>	○	>	○	>	>	○	
g ¹	○	○	ト	○	G	○	○	○	○	○	>	○	>	>	○	>	○	>	>	○	
f ¹	○	○	-	○	G	○	○	○	○	○	>	○	>	>	○	>	○	-	-	○	
伴奏の和音と調号をもとに関連う																					
c ¹	○	○	Fis	-	G	○	-	-	-	-	>	○	-	-	-	>	○	-	-	○	
c ¹	○	○	-	-	G	○	基	基	基	-	>	○	-	-	-	>	○	-	-	○	
4. 旋律の調号を関連う																					
伴奏の和音と調号をもとに関連う																					
d ²	-	○	G ₆	-	H	-	-	-	-	-	<	-	<	<	-	<	-	<	<	-	
d ²	-	○	G ₆ ^b	-	G	○	Ⅲ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅶ	<	-	<	<	-	<	-	<	<	-	
d ²	-	○	一部	-	G	-	基1	基1	基1	基	<	-	<	<	-	<	-	<	<	-	
d ²	-	○	-	-	-	g ¹	-	-	-	-	<	-	<	<	-	<	-	<	<	-	
d ¹	#2	○	一部 #2	-	G	○	43	基	基	基	<	#	<	<	-	<	#	<	<	-	
d ² * *	-	○	-	-	G	-	基	Ⅶ	Ⅱ	-	<	-	<	<	-	<	-	<	<	-	
5. 旋律の拍子を関連う																					
伴奏の和音だけを関連う																					
d ² *	○	-	-	○	G	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	
6. 旋律の調号と拍子を関連う																					
伴奏の和音と調号をもとに関連う																					
d ²	-	-	ト	-	G	-	記欠	記欠	記欠	記欠	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	
c ¹	-	-	-	-	Hh	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	○	
7. 旋律の開始音と拍子を関連う																					
8. 旋律の開始音と調号を関連う																					
伴奏の和音と調号をもとに関連う																					
h ¹	-	○	G ₅	-	Ff	A	♯3	-	-	-	#	-	-	-	-	#	-	-	-	○	
h ¹	♯4	○	ト #4	-	E	♯4	♯4	♯4	♯4	♯4	#	=	-	-	-	#	=	-	-	○	
c ¹	-	○	-	-	G	-	○	○	○	○	>	-	-	-	-	>	-	-	-	○	
-	-	○	-	-	ト	h下降	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
9. 旋律の3間ともに関連う																					
伴奏の和音と調号をもとに関連う (全間)																					
-	-	-	-	-	Gg	G	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
-	-	-	-	-	F	F	-	基	解不	解不	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	

1-3) 二長調に移調

移 調 後				移 調 前							間違いに見られる移調前後の関連性								
旋 律 開始音 調号 拍子			伴 奏 和音 調号	ハ長調 少 多		移調する調 少 多 調号			和 音 I IV V V7				旋 律 開始音 調号 拍子			伴 奏 和音 調号			
1. 旋律・伴奏ともに正解																			
a ¹	○	○	D	○	d	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	○	○	○	○	○	○	1音	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	○	○	○	○	○	○	1音	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	○	和音	和音	和音	和音	和音	和音	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	○	基	基	基	基	基	基	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	○	基	基	基	基	基	基	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	+	○	○	○
2. 旋律は正解																			
伴奏の和音だけを間違えう																			
a ¹	○	○	-	○	D	○	基	II	III	I	I	○	○	○	○	○	○	○	○
伴奏の和音と調号をともに間違えう																			
a ¹	○	○	-	-	Hh	d	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
a ¹	○	○	-	-	Hh	d	○	基	VI	I	I7	○	○	○	○	-	-	-	-
a ¹	○	○	-	-	Hh	d	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
a ¹	○	○	一部	-	Hh	d	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
a ¹ *	○	○	-	-	Hh	H	○	和音	和音	和音	和音	和音	<	○	○	-	-	-	-
3. 旋律の開始音を間違えう																			
伴奏は正解																			
f ¹	○	○	D	○	d	○	和音	和音	和音	和音	和音	>	○	○	○	○	○	○	○
伴奏の和音だけを間違えう																			
f ¹	○	○	一部	○	d	○	基	基	基	基	基	>	○	○	>	○	○	○	○
f ¹	○	○	一部	○	d	○	基	基	基	基	基	>	○	○	>	○	○	○	○
g ¹	○	○	3I	○	Aa	H	臨時	-	-	-	-	#	<	○	×	+	+	+	+
伴奏の和音と調号をともに間違えう																			
d ¹	○	○	-	ト	d	○	調欠	調欠	調欠	調欠	調欠	>	○	○	-	>	>	>	>
4. 旋律の調号を間違えう																			
伴奏の調号だけを間違えう																			
a ¹	-	○	D	-	d	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	+	-	-	-
伴奏の和音と調号をともに間違えう																			
a ¹	-	○	-	-	上加	d	3I	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
a ¹	b2	○	-	-	上加	d	#3	-	-	-	-	○	#	-	-	-	-	-	-
a ¹	b1	○	一部	b1	D	b1	d	d	d	d	d	>	=	○	#	=	-	-	-
5. 旋律の拍子を間違えう																			
6. 旋律の調号と拍子を間違えう																			
伴奏の和音と調号をともに間違えう																			
a ¹	#3	-	-	-	d	b1	-1	b1	b1	b1	b1	○	#	-	-	-	-	-	-
7. 旋律の開始音と拍子を間違えう																			
8. 旋律の開始音と調号を間違えう																			
伴奏の調号だけを間違えう																			
f ¹	-	○	○	-	d	○	○	○	○	○	○	>	-	○	-	-	-	-	-
f ¹	-	○	D	-	d	-	ト	ト	ト	ト	ト	>	-	-	-	-	-	-	-
d ¹	-	○	D	-	d	-	-	-	-	-	-	>	-	-	-	-	-	-	-
伴奏の和音と調号をともに間違えう																			
f ¹	b2	○	B dur	b2	-	H	b2	-	-	-	-	#	=	○	×	■	■	■	■
f ¹	-	○	一部	-	d	-	○	○	○	○	○	>	-	○	>	-	-	-	-
d ¹	-	○	ト	-	d	-	-	-	-	-	-	>	-	-	-	-	-	-	-
d ²	#1	○	-	#1	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	×	×	×
d ¹	-	○	ト	-	d	-	-	-	-	-	-	>	-	-	-	-	-	-	-
9. 旋律の3間ともを間違えう																			
伴奏の和音と調号をともに間違えう (全間)																			
-	-	-	-	-	d	#5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
e ¹	-	-	和音	-	-	-	基	基	基	基	基	×	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	○	基1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 平成5年度入学生
2-1) 変口長調に移調

移 調 後				移 調 前				間違いに見られる移調前後の関連性								
旋 律				和 音				旋 律								
開始音	調号	拍子	伴奏	ハ長調	移調する調	I	II	III	IV	開始音	調号	拍子	伴奏			
			和音 調号	♩ ♪	♩ ♪ 調号								和音 調号			
1. 旋律・伴奏ともに正解																
♩	○	○	B ○	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b' ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	D	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b' ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b ○	和音	和音	和音	和音	○	○	○	○	○		
♩	○	○	B ○	B	b ○	○	○	○	和音	○	○	○	○	○		
2. 旋律は正解																
伴奏の和音だけを間違え																
♩	○	○	B' ○	B	b ○	○	○	○	和音	○	○	○	○	○		
♩	○	○	一部	B	b' ○	○	○	○	○	○	○	○	>	○		
♩	○	○	—	B	b' ○	解不	解不	○	○	○	○	○	○	○		
♩	○	○	—	—	b ○	III	VI	VII	解不	○	○	○	○	○		
3. 旋律の開始音を間違え																
伴奏の和音だけを間違え																
h ¹	○	○	—	B	b ○	和音	和音	和音	和音	>	○	○	○	○		
a ¹	○	○	へ長	B	b ○	○	○	○	○	>	○	○	>	○		
4. 旋律の調号を間違え																
伴奏の調号だけを間違え																
♩	b3	○	B b3	B	b b3	—	—	—	—	○	=	○	+	=		
5. 旋律の拍子を間違え																
伴奏は正解																
♩	○	—	B ○	B	b ○	○	III	○	○	○	○	○	—	<	○	
♩	○	—	B ○	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
伴奏の和音だけを間違え																
♩	○	—	一部	B	b ○	○	○	○	○	○	○	○	○	>	○	○
6. 旋律の調号と拍子を間違え																
伴奏の和音と調号をともに間違え																
♩	♩1	—	31 ♩1	B	b ○	○	○	○	○	○	>	—	>	>	○	
♩	—	—	—	B	b —	解不	解不	解不	解不	○	—	—	—	—	—	
♩	—	—	—	—	— —	—	—	—	—	+	—	—	—	—	—	
7. 旋律の開始音と拍子を間違え																
8. 旋律の開始音と調号を間違え																
伴奏の和音だけを間違え																
h ¹	—	○	—	—	b' —	○	○	○	○	=	—	—	—	+	—	
伴奏の和音と調号をともに間違え																
h ¹	b1	○	B' b1	A	a' ♩1	a	a	—	—	≠	=	—	≠	=	—	
h ¹	b1	○	変ホ b1	B	b ♩1	音階	音階	音階	音階	≠	=	—	≠	=	—	
h ¹	#2	○	—	B	h —	#2	#2	#2	#2	≠	X	—	—	—	—	
h ¹	b3	○	— b3	es	os ♩3	—	—	—	—	≠	=	—	—	—	—	
9. 旋律の3問ともを間違え																
伴奏の和音と調号をともに間違え (全問)																
h ¹	—	—	解不	A	a' #3	a	a	a	a	≠	—	—	≠	—	—	
—	—	—	—	A	a' —	Ⅶ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	B	b #1	解不	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	B	b ○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	B	b ○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	b' #5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

移調に関して保育科学生が起こし易い間違い

2-2) ト長調に移調

移 調 後				移 調 前				間違いに見られる移調前後の関連性					
旋 律 開始音	拍子	伴 奏 和音	調号	ハ長調 ♩	移調する調 ♩	和 音 I	和 音 IV	和 音 V	和 音 V7	旋 律 開始音	拍子	伴 奏 和音	調号
1. 旋律・伴奏ともに正解													
d ²	○	○	G ⁺	○	G	9	○	○	○	○	○	○	○
d ²	○	○	G ₆	○	G	9	○	○	○	○	○	○	○
d ²	○	○	G ⁺	○	G	9	○	○	○	○	○	○	○
d ¹	○	○	G ₆	○	G	9	○	○	○	Ⅶ ₇	○	○	○
d ²	○	○	G ₆	○	和音	9	○	○	○	Ⅶ ₇	○	○	○
d ²	○	○	G	○	G	9	○	○	○	I音	○	○	○
2. 旋律は正解													
伴奏の和音だけを間違える													
d ²	○	○	M	○	G	9	○	-	-	-	○	○	×
d ²	○	○	誤認	○	G	9	○	○	○	○	○	○	>
d ²	○	○	A	○	G	9	○	○	○	-	○	○	>
d ²	○	○	-	○	G	9	○	○	○	○	○	○	-
d ¹	○	○	-	○	G	9	○	○	○	-	○	○	-
d ¹	○	○	-	○	G	9	○	-	-	-	○	○	.
d ¹	○	○	-	○	G	9	○	○	○	I音	○	○	#
d ¹	○	○	-	○	G	9	○	○	○	-	○	○	-
d ¹	○	○	-	○	9	9	○	○	○	I ₇	○	○	-
d ¹	○	○	-	○	G	9	○	○	○	I ₇	○	○	-
伴奏の和音と調号をともに間違える													
d ²	○	○	一部	-	G	9	○	Ⅳ	V ₇	Ⅶ	-	○	*
d ¹	○	○	-	-	G	9	○	○	○	○	-	○	-
3. 旋律の開始音を間違える													
伴奏の和音だけを間違える													
c ¹	○	○	-	○	G	9	○	○	○	-	調欠	○	○
4. 旋律の調号を間違える													
伴奏の調号だけを間違える													
d ²	-	○	G ⁺	-	G	9	○	-	-	-	-	○	-
d ²	-	○	G ⁺	-	G	9	#2	○	#2	#2	I音	○	<
d ²	-	○	G ⁺	-	G	9	○	○	○	Ⅳ ₇	○	-	○
伴奏の和音と調号をともに間違える													
d ²	-	○	-	-	G	9	-	○	○	調欠	-	○	.
d ²	-	○	-	-	G	9	-	和音	和音	和音	和音	○	.
d ²	-	○	H	-	G	9	-	○	○	調欠	調欠	○	.
d ²	-	○	-	-	G	9	-	○	○	調欠	-	○	.
d ¹	-	○	-	-	G	9	-	○	○	-	調欠	○	.
d ^{2*}	-	○	-	-	G	9	○	-	-	-	-	○	.
d ^{2*}	F2	○	-	#2	G	9	-	○	○	-	調欠	○	X
5. 旋律の拍子を間違える													
伴奏の和音だけを間違える													
d ²	○	-	b一部	○	9	9	○	○	○	○	○	○	-
d ¹	○	-	-	○	9	9	○	○	○	○	○	○	-
d ¹	○	-	-	○	G	9	○	○	○	○	○	○	-
伴奏の和音と調号をともに間違える													
d ^{1*}	○	-	-	ト	G	9	○	○	○	○	-	○	○
d ^{2*}	○	-	-	-	G	9	○	○	Ⅲ	○	-	○	○
6. 旋律の調号と拍子を間違える													
7. 旋律の開始音と拍子を間違える													
8. 旋律の開始音と調号を間違える													
伴奏の和音と調号をともに間違える													
c ²	F3	○	-	#3	G	9	○	○	○	○	○	○	>
c ²	-	○	-	-	G	9	○	○	-	-	-	○	-
9. 旋律の3問をともに間違える (全問)													
伴奏の和音と調号をともに間違える (全問)													
c ¹	-	-	-	-	f	f	-	○	○	○	-	*	.
-	-	-	-	-	G	9	○	基	-	-	-	-	.
-	-	-	-	-	9	9	○	F	F	F	F	-	.
-	-	-	-	-	G	9	-	○	○	調欠	-	-	.

2-3) 二長調に移調

移 調 後				移 調 前				関連いに見られる移調前後の関連性							
旋 律		伴 奏		ハ長調		移調する調		和 音				旋 律		伴 奏	
開始音	調号	拍子	和音 調号	♩	♩	調号	I	IV	V	V ₇	開始音	調号	拍子	和音 調号	
1. 旋律・伴奏ともに正解															
a ¹	○	○	D ₆	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	○	○
a ¹	○	○	D	○	d	d'	○	和音	和音	和音	和音	○	○	○	○
2. 旋律は正解															
伴奏の和音だけを関連う															
a ¹	○	○	D一部	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	>	○
a ¹	○	○	D一部	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	>	○
a ¹	○	○	-	○	d	d'	○	○	○	○	IV ₇	○	○	-	○
a ¹	○	○	-	○	d	d'	○	○	○	I	○	○	○	-	○
伴奏の和音と調号をともに関連う															
a ¹	○	○	D一部	-	d	d'	○	-	-	-	-	○	○	X	-
a ¹	○	○	-	-	-	d'	○	-	-	-	-	○	○	-	-
3. 旋律の開始音を関連う															
伴奏は和音だけを関連う															
d ¹	○	○	ト長	○	F	d'	○	-	-	-	-	○	○	X	○
4. 旋律の調号を関連う															
伴奏の調号だけを関連う															
a ¹	-	○	D	-	d	d'	-	調欠	○	-	調欠	○	-	<	-
a ¹	-	○	D	-	d	d'	-	調欠	III	調欠	-	○	-	<	-
a ¹	-	○	D	-	d	d'	-	調欠	○	調欠	調欠	○	-	<	-
a ¹	-	○	D	-	d	d'	-	調欠	○	調欠	-	○	-	<	-
a ¹	#3	○	D ₆	#3	d	d'	#3	○	III	○	○	○	=	<	=
a ¹	b2	○	D	b2	-	d'	○	-	-	-	-	○	>	+	>
伴奏の和音と調号をともに関連う															
a ¹	-	○	-	-	d	d'	○	-	-	-	-	○	-	-	-
5. 旋律の拍子を関連う															
伴奏は正解															
a ¹	○	-	D	○	d	d'	○	○	○	○	○	○	○	-	○
伴奏の和音と調号をともに関連う															
a ¹	○	-	-	-	d	d'	**	○	○	I	○	○	<	-	-
6. 旋律の調号と拍子を関連う															
伴奏の和音と調号をともに関連う															
a ¹	-	-	-	-	d	d'	-	調欠	○	調欠	調欠	○	-	-	-
7. 旋律の開始音と拍子を関連う															
8. 旋律の開始音と調号を関連う															
伴奏の和音と調号をともに関連う															
-	-	○	-	-	d	d'	-	調欠	-	-	-	-	-	-	-
9. 旋律の3問ともを関連う															
伴奏の和音と調号をともに関連う															
-	-	-	-	-	d	d'	○	○	III	○	○	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	d	d'	○	○	○	○	P	-	-	-	-
-	-	-	-	-	d	d'	○	○	1転	1転	1転	-	-	-	-
-	-	-	-	-	d	d'	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	d	d'	-	解不	解不	解不	解不	-	-	-	-

移調に関して保育科学生が起こし易い間違い

注)

移調の解答に関する記号

旋律

開始音と音階はドイツ音名で示した。

一語 - 開始音は正確であるか、音符の正しか記入しなかった。

下降 - 音階を下降で解答した。

位置 - 調号の位置を間違えた。

伴奏

和音はコードネームで示した。

一部 - 伴奏和音を一部記入

単音 - 和音でなくその一部の音を記入

へ長・嬰半 - 誤って記入した調名

臨時 - 臨時記号を記入

* - 一部記入

** - 一部間違い

ト - ト音記号で解答

上加 - 上部加線が不足

ト1-7および#ト1-7はそれぞれの個数で示した。

3上 - 3度上に記入

和音 - ハ長調の和音Iと和音IVを交互に記入

M - メロディを記入

音階 - 音階で解答

間違え理由の有無

伴奏の和音に関して、移調前の間違いが程度で移調後に影響がないと考えられる場合は正解とみなして扱った。

移調前の4和音のうち1つだけでも無解答の場合は無解答として扱った。

		移 調 前		
		正解	誤解答	無解答
移 調 後	正解	○	<	+
	誤解答	>	≠	×
	無解答	-	・	.
		-	同じ間違い	
		+	異なる間違い	

移調する原譜であるハ長調の音階に関する間違いは平成4年度入学生11名に見られたが、この調の音階を理解できないとみなさなければならない学生はそのうちの7名であった。移調後の間違い（無解答を含む）の原因がすべて移調前に見られるとすれば「間違いに見られる移調前後の関連性」の欄では「○」、「=」および「・」以外の記号は見られないはずである。しかし、これら以外の記号の出現率は無視できない。そのうちでも、移調前には正解でなかった学生が移調した解答では同じ項目に対して正解をした（<と+）例が多数見られた。

移調に関する各項目に対して解答を間違えた人数を表1より求め、表2に示した。同様な表は前報²⁾にも示した。しかし、解答に対する扱いを次に示すように変えたために数値が異なる：前報における調号と拍子は旋律と伴奏におけるこれらがともに正解の場合を正解、ともに無解答の場合を無解答として扱い、いずれか一方しか解答していなかった場合は誤解答に含めたが、本報では調号は旋律に関する記載と伴奏に関する記載を分離して扱い、拍子は旋律に関する記載で代表した。前報では伴奏と旋律に関して、関連するすべての項目について正解であった場合を正解、その他は上記と同様に扱ったが、本報では項目に分けて扱った。また本報では無解答は誤解答に含めた。

移調に関する5項目すべてが正解であった率は調によって異なり、変ロ長調またはニ長調に移調した学生では約1/4であったのに対し、ト長調に移調した学生では約1/7であった。この差異は次の理由による：旋律に対する間違いの率には3つの調の間に差が見られなかったが、伴奏、特に和音に関する間違いがト長調に移調した平成5年度入学生では他と比べて高かったた

表2. 移調に関する各項目に対する解答を間違った人数

移調した調 入学年度(平成)	変口長調		ト長調		ニ長調		計(%)
	4	5	4	5	4	5	
全間正解 計(%)	6	13	5	6	8	12	50(22.5)
	19(25.0)		11(15.1)		20(27.4)		

表1の表示別の人数

旋律							
正解	15	17	11	18	14	18	93(41.9)
開始音を間違う	1	2	7	1	5	1	17(7.7)
調号を間違う	4	1	6	10	4	7	32(14.4)
拍子を間違う		3	1	5		2	11(5.0)
開始音と調号を間違う	8	5	4	2	8	1	28(12.6)
開始音と拍子を間違う	1						1(0.5)
調号と拍子を間違う	2	3	2		1	1	9(4.1)
3問ともに間違う	5	9	2	4	4	7	31(14.0)
間違った人数 計(%)	21	23	22	22	22	19	129(58.1)
	44(57.9)		44(60.3)		41(56.2)		
伴奏							
正解	7	15	5	6	9	13	55(24.8)
和音を間違う	7	8	10	14	4	5	48(21.6)
調号を間違う	2	1		3	4	6	16(7.2)
ともに間違う	20	16	18	17	19	13	103(46.4)
間違った人数 計(%)	29	25	28	34	27	24	167(75.2)
	54(71.1)		62(84.9)		51(69.9)		

項目別の人数

旋律							
開始音	15	16	13	7	18	9	78(35.1)
調号	19	18	14	16	17	15	99(44.6)
拍子	8	15	5	9	5	3	45(20.3)
間違った延べ人数 計(平均項目数)	42	49	32	32	40	27	222
	91(1.20)		64(0.88)		67(0.92)		
伴奏							
和音	27	24	28	31	23	18	151(68.0)
調号	22	17	18	20	23	19	119(53.6)
間違った延べ人数 計(平均項目数)	49	41	46	51	46	37	270
	90(1.18)		97(1.33)		83(1.14)		
学生数							
	36	40	33	40	36	37	222

めである。しかし、その原因は移調前の和音に関する設問に対する正解率には見られなかった⁵⁾。

間違った項目の組合わせに関して、ト長調に移調した場合の旋律では、単一の項目に関して間違った学生が多く、他の調に移調した学生では開始音と調号あるいはさらに拍子を加えた3項目を間違った人数が多かった。伴奏に関しては、旋律におけると反対に調号だけを間違った人数が少なかった。

旋律に関する間違いは項目によって異なり、間違え可能性が全く考えられない拍子でさえも約1/5の学生に間違いが見られた。その大部分はこれを記入しなかったためである。他の項目では約1/3から4/9の学生にいずれかの間違いが見られた。これは1人当たり約1項目に当たる。伴奏に関する間違いはこれよりも多く、和音に関しては約2/3の学生が間違い、調号に関しては半数以上の学生が間違った。旋律と伴奏における調号の間違いを比べると後者は前者の約1.2倍であった。これは伴奏に関して調号を記入しなかった学生が多かったためであり、伴奏に関する調号は3度下げて書かなければならないことを忘れたとみなせる学生は5名だけであった。すなわち、両者の違いは理解しているが、楽譜の各段のはじめに必要な要素を記入しなければ楽譜にならないというきわめて基礎的なことに対する注意が欠けていたためである。

3・2 移調後の間違いの原因の推定

表1では解答を記号化して表示した。各学生の解答において、異なる項目に対して同じ記号で表される間違いが見られた。また、調あるいは項目が異なると同じ理由によると考えられる間違いが異なる記号で表される。これらの点を整理すると表3の1)が得られる。また、この表に示した間違いの類型別に人数を集計すると表3の2)が得られる。これらの表から次のことが分かる：

1. 移調に関する間違いの大部分は移調に付随して発生したと考えられる間違いでなく、それ以前の基本事項における間違いに起因すると考えられる型であった。
2. 楽譜の最も基本である「音部記号」に関して間違った学生は11名で、無解答を除く間違いの約8%に当たる。「音部記号」に関して間違った人数は調によって異なるが、その理由は明らかでない。
3. 「調号」に関する間違いは6名に見られ、これは無解答を除く間違いの約4%に当たる。子どもの歌は二長調が多いので、保育科の学生はこの調に接する機会が最も多いにもかかわらず、調号の間違いがこの調に集中した原因は不明であり、その根拠は各調に関する正解率にも見いだせない。
4. 基本事項の一つである「同種調号の個数」に関する間違いは25名(約18%)に見られ、その3/5は変ロ長調に集中した。しかし、これらの場合でもほぼ全員が主音の位置にはbを

表3. 間違いの推定される原因による類型化と関連する項目に対する解答との関係
1) 間違いの類型別人数

移調した調 入学年次(平成)		変口長調		ト長調		ニ長調	
		4	5	4	5	4	5
音部記号の間違い	伴奏調号 和音	(ト) -		(ト) ○ (ト) 4○ 1-	-	(ト) - (ト) 2-	
調号の間違い #→b	旋律調号 伴奏調号					(b2) ○× (b2) *	○ ○
b→#	旋律調号	(#2)	×				
同種調号の個数の間違い							
1つ多い (b)	旋律調号 伴奏調号 和音	(b3) ○ (b3) × (b3) ×	*○ -×				
(#)	旋律調号 伴奏調号			(#2) ○ (#2) ○	○ -	(#3) ○ (#3)	○ ○
1つ少ない (b)	旋律調号 伴奏調号 和音	(b1) ○ (b1) (b1) -	○2× ○2×				
(#)	旋律調号 伴奏調号 和音					(#1) * (#1) - (#1) -	
関連のある調との間違い							
変種調を嬰種調に間違う	旋律調号 伴奏調号 和音	(#5) × (#5) ×				(B dur) *	
長調を短調と間違う	旋律調号 伴奏調号					(b1) ○ (b1) ×	
平行調	和音	(G) ○					
聞き間違った可能性	旋律調号 伴奏調号	(#4) ○ (#4) ○					
調に関するその他の間違い							
関連のない調との間違い	旋律調号	(#7) ○					
調号の位置の間違い	旋律調号 伴奏調号	(位置) ○ (位置) -					
記入間違い	伴奏調号	-					

移調に関して保育科学生が起こし易い間違い

表3. つづき

	変口長調		ト長調		ニ長調		
	4	5	4	5	4	5	
開始音における線または間に関する間違い							
2度上の線	開始音	(g ¹) ○ (g ²) ×					
3度上の線	和音	(f3) × ×	(H)	—			
2度下の線	開始音		(c ¹) 2○2—	○—	(g ¹) ○		
3度下の線	開始音 旋律調号 伴奏調号 和音		(h ¹) ○—* (#4) * (#4) *				
2度上の間	開始音	(a ¹) ○— (c ²) —	○	(f ¹) ○			
3度上の間	旋律調号 伴奏調号 和音	(c) —	(#3) (#3) (Fis) ○— (A)	× — ○	(b1) ×		
2度下の間	開始音		(c ²) ○	×—			
3度下の間	開始音				(f ¹) 3○ 3—1*		
開始音に関する間違い 指定した調の主音で開始 (1オクターブ下)	開始音	(h ⁵) —	1○4×2—	(g ¹) ○	(d ¹) 1○3— (d ²) *	○	
和音に関する間違い 和音 単音 メロディー 誤認 解釈不能			○	○ ○	—		
その他の間違い 一部しか記入していない (1オクターブ下)	開始音	○			○		
	和音	3○	2○	4○1—	○—	2○2—1× 2○1—	
一部間違い	開始音		—				
他もほとんど間違う	開始音	(c ²) —		(e ¹) — (d ²) *			
無解答	開始音 旋律調号 伴奏調号 和音	9— 1○9—3× 1○15— 4○16—	8— 2○8—2× 12— 4○11—1×	3— 6○3—3× 9—6× 3○9—	3— 9○3—2× 4○12—1× 10○12—3×	3— 2○3—7× 4○10—5× 2○10—1×	8— 6○8— 5○12— 2○12—

注) 記号の前の数値は該当する人数を示す。ただしまぎらわしくない場合は1を省略した。

旋律における開始音と調号、伴奏における調号と和音の解答の間の関連を次の記号で表した。

* 質問した項目に対する解答は間違っており、仮にその間違いに従うとすれば関連する項目に対する解答は答案に記されたようになる。(間違った調として正しい)

○ 質問した調としては解答は間違っているにもかかわらず、関連する項目に対する解答は正しい。

× いずれでもない。

— 関連を調べるための部分の解答が欠けているために判断できない。

2) 各類型の延べ人数

移調した調 入学年次 (平成)	変口長調		ト長調		ニ長調		計	合計
	4	5	4	5	4	5		
音部記号の間違い	1		6	1	3		11	11
調号の間違い #→b b→#		1			3	2	5 1	6
同種調号の個数の間違い 1つ多い (b) (#) 1つ少ない (b) (#)	3	4	2	2	1	2	7 7 8 3	25
関連のある調との間違い 変種調を嬰種調に間違う 長調を短調と間違う 平行調 聞き間違った可能性	2				1	2	3 2 1 2	8
調に関するその他の間違い 関連のない調との間違い 調号の位置の間違い	1						1 2	3
記入間違い	1						1	1
線または間に関する間違い 2度上の線 3度上の線 2度下の線 3度下の線 2度上の間 3度上の間 2度下の間 3度下の間	2 1 1 3 1	1	4	1	2		2 3 6 6 5 7 3 7	39
開始音に関する間違い 指定した調の主音で開始	1	7	1		5	1	15	15
和音に関する間違い 和音 単音 メロディー 誤認 解釈不能			1	1		1	1 1 1 1 1	5
その他の間違い 一部しか記入していない 一部間違い 他もほとんど間違う	4	2	5	2	6	3	22 1 3	26
計	29	23	29	17	33	8	139	139
無解答	58	48	42	59	47	53	175	175
合計	87	71	71	76	80	61		446

移調に関して保育科学生が起こし易い間違い

3) 間違いの関連

移調した調 入学年次(平成)				変口長調		ト長調		ニ長調		計
基準項目	関連項目	記号	4	5	4	5	4	5		
旋律	開始音	調号	*			1	1	1		3
			○	3	2	6	1	6	1	19
			×	1	4	1	1			6
			—	13	10	7	6	9	8	53
	調号	開始音	*		1	1		1		3
			○	6	4	7	10	5	6	40
			×	4	5	3	3	8		23
			—	9	8	3	3	3	8	34
伴奏	調号	和音	*			1		1		2
			○	2	1	2	4	4	7	20
			×	2	3	6	1	7		19
			—	17	13	9	15	12	12	78
	和音	調号	*					1		1
			○	9	6	13	14	4	4	50
			×	2	2		3	2		9
			—	19	12	12	14	16	13	86
計			*		1	3	1	4		9
			○	20	13	28	29	19	20	129
			×	9	14	9	8	17		57
			—	58	43	31	38	40	41	251
合計				87	71	71	76	80	61	446

4) 調号に関する間違い同異

移調した調 入学年次(平成)	変口長調		ト長調		ニ長調	
	4	5	4	5	4	5
調号の間違い #→b b→#	(#2)	—			(b2)	== =
同種調号の個数の間違い 1つ多い (♯) (#)	(b3)	= 2=	(#2)	= =	(#3)	— =
1つ少ない (b) (#)	(b1)	— 2=			(#1)	=
関連のある調との間違い 変種調を嬰種調に間違う	(#5)	=				
長調を短調と間違う					(b1)	=
聞き間違った可能性	(#4)	=				
調に関するその他の間違い 関連のない調との間違い	(#7)	—				
調号の位置の間違い	(位置)	=				
記入間違い						>

注) 旋律に関する調号の間違いを基準とし、伴奏の調号に関する間違いが同じ場合を「=」、記入していなかったために比較できない場合を「—」、旋律に関する調号は正解であったが伴奏に関する調号を間違った場合を「>」で表した。

記入していた。すなわち口の音の位置は記憶しているが、音階の構成と調号との関連まで完全には把握していなかったためと考えられる。他の調に移調し、同種調号の個数に関して過不足が見られた学生でも、それらの大部分は主音の位置に調号1つを記入していた。

5. ある程度理解しているが、記憶が不完全であったためと考えられる「関連ある調」との間違いは8名(6%)に見られ、その半数以上が変ロ長調に集中した。この場合も先と同様に口の音の位置は記憶しているが、「変ロ」に関する理解が不十分であったためと考えられる。ニ長調について、ここに揚げた3名中2名は先に示した調号あるいは同種調号の個数を間違えた学生であり、その間違いは表1および3の1)に示したようにも解釈できる。
6. 最も多かった間違いは「線または間」に関する間違いで、39名(28%)に見られた。その人数は調によって異なり、その3/4の学生では開始音が5線の中央より下の調(変ロ長調)では上に、上の調(ト長調)では下に間違えた。ニ長調について開始音を間違えた学生では、3度下の間との間違いが多かった。
7. 指定した調の主音から開始した学生が15名見られた。これらの学生は移調の定義を勘違いした可能性が考えられる。

すなわち、移調の意味が分からなかったために解答を間違えた学生は7に示した15名だけであるとみなせる。

音部記号と調号によって開始音と和音の位置がきまるという当然のことを学生が覚えているとすれば、拍子以外のすべての項目について同じ記号で表される間違いをするはずである。しかし、学生の解答を検討した結果、学生は必ずしもこの考え方に従って覚えていないことが分かったので、この問題を調べるために表3の1)では間違いの関連を記号で付け加えた。それを整理すると表3の3)が得られる。先に記した考え方に従うとすれば、表3の1)における記号の大部分は「*」になり、対応する項目に関して解答を欠く場合を含めると「-」は起こりうる。しかし、結果はこれと全く異なり、最も多かったのは対応する解答を欠く場合(-)で、これを除くと「質問した調としては解答は間違っているが、関連した項目における解答は質問した調として正しい」(○)の人数がこれに次ぎ、「*」の人数が最も少なかった。すなわち、移調を間違えた水準の学生は、調号と開始音あるいは和音の位置を関連付けずに覚えていた可能性が強く示唆された。

取り上げた5項目のうち、表3の3)に示した以外に旋律と伴奏の調号の関連が含まれる。この関連を表3の4)に示す。この表においてほとんどが「=」で示されることから、これらの学生は、両者の間には音部記号が異なっても調号は同じであるという基本事項は理解していたとみなせる。

3・3 移調前後の間違いの関連

これまでの記載は無解答を含む間違いの検討であった。しかし、それでは学生の到達度に関する全体像を把握できないので、ここでは正解者を含めて扱った。先に記したように移調後の間違いの大部分は移調前の基礎事項にある可能性が表3の1)から示唆された。他方、間違い方に関して簡単に考えられない可能性が表3の3)から示唆された。そこで、この問題を検討するために移調前の関連事項に対する解答の正誤を表1の右端に付記した。移調に関して取り上げた5つの項目に対する解答の正誤と移調前のそれらとの関連をこの表より集計すると表4が得られる。この表から次のことが分かる：

1. 旋律の開始音

移調前には対象とした222名中185名が正解(○, >および-)であった。しかし、そのうちの42名は移調後に解答を間違った(>)か解答をしなかった(-)。そのために正解率は83.3%から64.4%に下がった。これは移調の意味を理解していなかったためと解答する時間が不足したためであると考えられる。このような学生は二長調に移調をさせた学生に集中した(45%)。しかし、先に記したようにその理由は明らかにできない。その反面、移調する調の開始音に対する解答を移調前には間違ったか解答しなかった学生のうちの5名(<および+)が正解に変わった。音階に対する設問について、平成4年度入学生ではへ音記号、平成5年度入学生ではト音記号とへ音記号に対する解答を求めた。したがって、移調前に正解をした学生のうち移調後に間違った学生(>)は平成5年度入学生では2名に対して平成4年度入学生では21名であった。旋律に対する解答は高等学校までに慣れてきたト音記号に対する解答であるので、正解できた可能性が平成4年度入学生では考えられる。移調前に開始音を間違った学生が音部記号の違いを理解していたとすれば、移調の前後に同じ間違いをする(表1と4では=)はずであるが、予想に反してそのような学生は移調前に間違った20名中の1名に過ぎず、異なる間違いをした学生(≠)が12名(全体の5.4%、間違いをした学生の60%)に達した。これらの学生は基礎事項と移調に関する他の項目に対する解答をほとんど間違っていたので、基礎知識の不足によるものと考えられる。すなわち、約2/3の学生は正解であったが、約20%(無解答を含めるとそれ以上)の学生は基礎事項に関する理解が不十分であったと考えられる。

2. 旋律の調号

半数以上の学生は移調の前後ともに正解(○)であった。しかし、対象の10%に相当する21名は移調前には正解であったにもかかわらず、移調後にはそうでなかった(>および-)。先の項目は移調した旋律に関する音符が分からないと記入できないが、この項目は移調する調の調号だけが分かっていたら記入できるはずである。また、へ音記号よりもト音記号になれているとすれば、移調前には解答をしなかったか解答を誤った学生のうちの平成4年度入学生のい

くらかは正解に変わる（くまたは+）可能性がある。しかし、移調前に正解であった21名中18名までは解答せず（-）、移調前に解答をしなかったか解答を誤った学生のうちで移調後では正解をした（<）のは2名だけであった。すなわち、この項目に対する正解率の低下は、旋律の音符の大半を記入できなければ調号も記入しないという消極的な考え方によると考えられる。このことは、次に記す拍子に関して記入しなかった学生が多かったことから裏付けされる。

移調前の解答を間違った学生の40%が同じ間違い（=）をした。これらの学生が間違っただのは、移調と音部記号の意味を理解していなかったためでなく、調号に関する基礎知識が不足していたためであるとみなせるだろう。

移調前に該当する調の調号を記入しなかった学生（×および・）のほとんど全員（92.2%）が移調後も調号を記入しなかった（・）。これらの学生には、特に音符以外の楽譜構成要素が不可欠であるという最も基礎的な記譜上の必要事項を十分に認識させる必要があると考えられる。

3. 旋律の拍子

3/4以上の学生は移調の前後ともに正解（○）であった。しかし、1/4の学生は移調前には拍子を記入したが、移調後は記入しなかった（-）。この理由も先と同様に旋律の音符の大部分を記入できなければ拍子も記入しないという消極的な考え方によると考えられる。

4. 伴奏の和音

移調前の和音に関する正解率は他の項目に対するよりも低かった^{1,6)}。したがって、この項目に関する正解率が低かったのは当然である。しかし、基礎事項に関する質問において和音が正解であった学生（○、>および-）の半数が移調後には正解でなくなった（>および-）現象は無視できない。この項目に関して特に目立つ現象は移調前に正解でなかった学生における移調後の解答に見られた次のようなことである。移調前に解答を間違った学生53名（<, =, ≠および÷）中の8名（<, 15%）と解答をしなかった学生62名（+, ×, ・およびト）中の13名（+, 21%）は移調後の和音に関して正解をした。これは全対象222名の10%に当たる。そのうち、平成5年度入学生では移調前にヘ音記号に対する和音も質問したので、ここで正解になる可能性は考えにくい。異なる間違い（≠）をした学生が15名、移調前には和音に関して解答をしなかったが、ここでは間違っただけの解答をした学生（×）が8名見られ、その率は全対象の10%に達した。その反面、移調の前後に和音に関して同じ間違いをした学生（=）は見られなかった。移調前には正解であったが移調後には間違っただけの解答をした学生を含め、これらの学生の解答を詳細に検討した。その結果、移調前の和音に関する解答と関係なく移調後の和音を解答する傾向が、これらの学生のほとんどに見られた。このように関連ある事項を関連付けずに解答する傾向は先に記したように開始音と調号との間にも見られた。

5. 伴奏の調号

46.6%の学生が移調の前後ともに正解(○)であった。これは先の項目と異なり、移調の前後ともにへ音記号に対する解答となるので、解答の正誤および間違い方は移調の前後とも同じになるはずである。そうであるとすれば、表4において「○」・「=」および「・」以外は見られないはずである。しかし、このような学生は162名(73%)であったのに対し、それら以外の学生は60名(27%)であった。解答を間違った学生は10名(>, ≠および×, 全体の5%以下)で、半数近い学生(96名, 43%)は解答を記入していなかった(ー, ÷および・)。すなわち、この項目に関する正解率の低下は、記譜上の必要事項は記入しなければならないことに対する認識の不足と、伴奏に関して和音の大半を記入できなければ調号を記入しないという消極的な考え方によると考えられる。

移調前に正解であったが、移調後に解答を間違った学生(>, 7名)の間違い方には規則性が見られなかった。このように、同じ解答になるはずの問題に対して同じ答案の部分によって異なる解答をする現象は、移調前と異なる間違い方をした学生(≠)1名と移調前には解答しなかったが移調後には正解か誤った解答に変わった学生(+および×)4名、計12名に見られた。

移調前の基礎的質問において、移調する調の調号を間違った学生(<, =, ≠および÷)の1/3が移調後も同じ間違いをし(=)、残りは解答を記入しなかった(÷)。移調前に調号を間違った学生が移調後も同じ間違いをする傾向(=)は旋律の調号に関しても見られた。表3の4)に示すように、これは同じ学生に見られた現象である。

上記の他に、移調後の開始音と和音における間違いとの関連、移調前におけるそれらの関連および移調前後の間違いの理由の関連を検討した。しかし、いずれに関しても間違い方は多様で、しかも比較する一方または両方に対して解答をしなかった学生が多く、関連の規則性は見られなかった。これは先に記したように、関連のある事項を関連付けながら覚えるという傾向が薄いためであると考えられる。

4. 結 論

ここでは、将来幼児の音楽教育に当たるであろう多数の学生の水準向上を目的とし、その手段として間違っパターンを追求した。その結果、移調の意味が分からなかったために解答を間違った学生は「3・2移調後の間違いの原因の推定」の7に示した15名だけであり、その他の間違いは基本事項に関する知識の不足に起因する。したがって、次に記す4つの傾向を理解した上で教育に望めば、かなりの効果を期待できる可能性が見いだせた。

表 4. 移調後の誤りの原因に関する移調前の解答の検討

移調前 移調後	正解		誤解答		無解答		正解 <	誤解答 =		誤解答 ≠		無解答		正解 +	誤解答 ×		無解答 .	
	○	△	>	<	—	>		<	>	<	>	<	>		<	+	×	.
入学年度 (平成)	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5
1) 旋律の開始音 移調した調	20	23	3	2	4	2	2	1	2	5	3	1	1	1	1	5	3	
	18	36	7	2	3		2	2	1		1	1	1	1	1			
	17	29	11	2	6		1	2	2			2	2	2	1	2		
計 (%)	143(64.4)	23(10.4)	19(8.6)	3(1.4)	23(10.4)	18(8.1)	3(1.4)	12(5.4)	4(1.8)	12(5.4)	4(1.8)	11(5.0)	2(0.9)	4(1.8)	4(1.8)	11(5.0)		
2) 旋律の調号	17	22	1	2	2	2	4	4	1	5	3	1	1	1	6	7		
	19	24	1	2	6		1	1	1	1	1	1	1	1	9	7		
	18	20	1	2	4		1	2	2		2	1	1	1	8	10		
計 (%)	120(54.1)	3(1.4)	18(8.1)	2(0.9)	12(5.4)	4(1.8)	12(5.4)	4(1.8)	12(5.4)	4(1.8)	47(21.2)	4(1.8)	47(21.2)					
3) 旋律の拍子	28	25	1	7	15													
	28	31		5	9													
	31	27		5	10													
計 (%)	170(76.6)	1(0.5)	51(23.0)	170(76.6)	1(0.5)	51(23.0)	1(0.5)	2(3.6)	8(3.6)	15(6.8)	30(13.5)	13(5.9)	8(3.6)	41(18.5)	3(1.4)			
4) 伴奏の和音	4	15	3	4	6	3	1	2	3	3	5	4	1	3	11	8		
	4	7	7	3	3	11	1	5	3	4	9	3	1	1	6	4		
	9	13	3	2	4	3	5	2	2	4	5	3	1	2	2	6	3	
計 (%)	52(23.4)	22(9.9)	30(13.5)	8(3.6)	15(6.8)	30(13.5)	8(3.6)	15(6.8)	30(13.5)	15(6.8)	30(13.5)	13(5.9)	8(3.6)	41(18.5)	3(1.4)			
5) 伴奏の調号	15	22	2	1	3	2	3	4	6	3	3	1	1	1	7	7		
	16	20	2	3	9		1	1	1	3	1	3	1	1	9	7		
	12	18	1	1	7	6	2	2	1	4	1	1	1	1	8	10		
計 (%)	103(46.4)	7(3.2)	30(13.5)	11(5.0)	1(0.5)	18(8.1)	11(5.0)	1(0.5)	18(8.1)	1(0.5)	18(8.1)	2(0.9)	2(0.9)	48(21.6)				

注) 数値は人数、カッコ内は全対象である222名に対する百分率を示す。

1. 記譜上必要不可欠な事項は必ず記入しなければならないという意識に欠ける。
2. 関連ある事項を関連付けながら覚えず、別個のものとして覚える。
3. ヘ音記号に従う記入に慣れていない。
4. 一部でも分かっているならば、分かっている部分だけでも記入しようとする意図に欠ける。

なお、この分析は間違った解答をした学生が対象であり、半数以上の学生は正解をしたので分析の対象にしなかった。また、解答をしなかった学生がどのようなことが分からなかったのかで解答しなかったは追求できなかった。もし方法があればこの問題を追求したい。以上の結果は一つの短期大学の保育科の学生に見られた現象である。学生の気質・教授陣および教科内容が異なる他の短期大学でも同様な傾向が見られるかどうか更に調査したい。

本研究にあたり、種々のご指導を賜った水産大学校名誉教授 前田 弘博士に対し厚く謝意を表します。

文 献

- 1) 黒瀬久子：保育科学生の伴奏に関する基礎的理解－Ⅰ. 調と和音，下関女子短期大学紀要，第12号，73～89 (1993)。
- 2) 黒瀬久子：保育科学生の伴奏に関する基礎的理解－Ⅱ. 移調，下関女子短期大学紀要，第12号，91～105 (1993)。
- 3) 黒瀬久子：保育科学生の伴奏に関する基礎的理解－Ⅲ. 学生の類型化，全国大学音楽教育学会研究紀要，第6号，79～91 (1995)。
- 4) 黒瀬久子：音階と調号に関して保育科学生が起こし易い間違い，下関女子短期大学紀要，第14・15合併号，81～91 (1996)。
- 5) 黒瀬久子：和音に関して保育科学生が起こし易い間違い，下関女子短期大学紀要，第14・15合併号，93～106 (1996)。